

Corsair KD431:The Time Capsule Fighter

コルセア KD431

文化財としての航空機修復

A4 判上製 208 ページ・カラー

定価（本体 3,200 円＋税）



デイヴィッド・モリス／著 苅田重賀／訳

東京文化財研究所・日本航空協会／監修

第2次世界大戦で活躍した艦上戦闘機「コルセア」を、イギリスの博物館が現役当時の塗装やマーキングそのままに現代に甦らせた修復プロジェクトの全記録。文書や写真、図面はもちろん、パイロットはじめ関係者の証言など、同機に関する可能な限りの客観的事実を収集して、激動の時代を生きた1機の航空機がたどった長い時間と歴史のすべてを検証し、かつての名機に最も似つかわしい姿を再現した。同時に本書は、航空機に限らずすべての近代化遺産にとっても、保存修復のありかたや手法を考えるうえできわめて示唆に富む、貴重なデータベースである。

全ページにコルセアのカラー写真や記録資料を配置し、また原著にはない修復中の写真なども新たに追加した、保存版写真集としても価値の高い1冊である。

第1章 “少尉殺し”と呼ばれた戦闘機チャンス・ヴォート F4U コルセア

第2章 イギリス海軍航空隊のコルセア

第3章 セイロン島からの帰還

ゴドフリー・ウッドバイン・パリッシュ少佐について

第4章 大いなる挑戦

仮説の検証／成功のチャンスは一度だけ

第5章 ステップ・バイ・ステップ そして見えてきたもの

プロペラとプロペラブレード／エンジン／エンジンカウリングおよびエンジンカバー／ブレークスルーの出現／証拠としての数字／KD431 はコルセアの何型なのか／“Stop&Think” 一手を止めて考えよう／コクピット前方の胴体パネル／潤滑油注入口のハッチ／作動油注入口ハッチと作動油タンク／水ヘッダータンク／燃料タンク周囲のパネル／再び“Stop&Think”／主翼／補助翼とフラップ／機銃収納部／主翼折り畳み部／内翼と胴体中央部／毒ガス反応塗料マーク／機体の来歴調査と作業がリンクするとき／突然の贈り物／ハンガー・パーティ開催／主降着装置／主脚前方カバー／ホイールとタンク／操縦席／後部胴体／コルセアの尾翼／克蘭フィールド大学との結び付き／奇妙な再会／FG-1A か FG-1D か／まとめ／修復プロジェクトで判明した KD431 の変遷

第6章 コルセアのパイロットは語る

ドナルド・マクイーン少佐／スタン・ディーラー／ジョン・テイラー／ジョン・モートン／トニー・ミッチェル／エリック・ビーチーノア／ピーター・ラブグローブ／最後の日々